

5 本時の指導

(1) 目標

・地域の消防団の組織や活動について知り、消防団の人たちの思いや願いを考える。

(2)

	4つの学習内容	学習活動	7つの学ぶ力
つかむ		○前時の資料(通報の流れ)を見て、消防団について、まだ分かっていないことがあることを確認する。 ○めあてを確認する。 消防団はどのような活動をしていて、どのような思いや願いをもっているのだろう。	
		○消防団とはどんな活動をしているのかを予想する。【ペア】 ・消火活動をするのではないか。 ・消火のための訓練もしているのではないか。	
調べ・考える	②人 消防団の方に直接質問をしながら、活動の内容や、どのような思いや願いがあるのかを考える。	○各資料を活用して調べ学習を行う。【グループ】 資料 写真→①消防署との協力、②防災訓練での指導、③訓練を行っている 資料 自作資料とゲストティーチャー→①団員の苦労・大変さ、②普段は別の仕事をしている ・消防署の人たちと協力して、消火と救助も行う。 ・ふだんは自分の仕事をしている。 ・やじうまの誘導と話していた。 ・地区防災訓練には、なかなか若い人たちが参加してくれないから来てほしいと話していた。	①話す・聞く力 聞きたい事を聞き出すための質問の工夫や聞いた話の中心をつかむ力を活用する。 ④調べる力 資料を読み、これまでの既習事項と比較する力を活用する。 ⑤考える力 社会の「店で働く人」の学習で知れた情報から、自分の考えを構築する力を活用する。
	④楽しさ グループでの調べ学習とするため、学び合いの中での発見からめあてに迫る。	○分かったことを確認する。【全体】 ・訓練をしたり、倉庫内の器具の点検をしている。 ・夜中でも消防署から連絡がくることもある。 ・仕事の後に、訓練や出動があるのは大変だ。 ○「大変な思い」をしてまで、消防団員として活動する理由を考える。【全体】 ・人の役に立ちたいと思っているからだ。 ・地域の安全を守りたいからだ。 ☆調べたことを白地図や文にまとめ、消防署や警察署などの関係機関が、相互に連携して緊急時に対応する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解する。【知・技①】(ノート・発言)	
まとめる		○学習のまとめを書く。 消防団の人たちは、ふだんは自分の仕事をしながら、消防署の人たちと協力して仕事をする。地区防災訓練などで、消火器の使い方を教えてくれる。若い人にもっと防災訓練に来てほしいと思っている。	⑦まとめる力 めあてに対する本時のまとめを書く。

第3学年 社会

火事から地域の安全を守る

授業日:11月17日
第5校時
授業者:須田 純也
学級:第3学年1組

授業者:久保 隆司
学級:第3学年4組

1 目標

地域の安全を守る働きについて、施設・設備などの配置、緊急時の備えや対応などに着目して、見学・調査したり、地図などの資料で調べたりして、白地図や文にまとめ、関係機関や、地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを通して、消防署や警察署などの関係機関が、相互に連携して緊急時に対応する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追及・解決し、学習したことを基に、火災から地域や自分自身の安全を守るために、自分たちにできることなどを考えようとする態度を養う。

2 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①施設・設備などの配置、緊急時の備えや対応などに着目して、見学・調査したり、地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。	①施設・設備などの配置、緊急時の備えや対応などに着目して、問いを見出し、関係機関や、地域の人々の諸活動について考え、表現している。 ②連携・協力している関係機関の働きを比較・分類したり、結び付けたりして、関係機関や地域の人々の相互の関連や従事する人々の働きを考えたり、火災から地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることを選択・判断したりして、適切に表現している。	①火災から地域の安全を守るための働きについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追及し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に、火災から地域や自分自身の安全を守るために、自分たちにできることなどを考えようとしている。
②調べたことを白地図や文にまとめ、消防署や警察署などの関係機関が、相互に連携して緊急時に対応する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解する。		

3 授業デザイン

学習指導要領 第3学年内容(3)地域の安全を守る働きに以下の各教科等・領域の内容、4つの学習内容、7つの学ぶ力をつないで、授業をデザインした。

各教科等・領域	4つの学習内容	7つの学ぶ力
国語 「もっと知りたい、ともだちのこと」では、スピーチで得た情報から即座にもっと知りたい情報を聞き出すために質問を整理し、発信することを学習した。また、「仕事のくふう、見つけたよ」では、情報をまとめる際のメモの取り方を学び、見学や取材・ノート作りの際に、後に活用しやすいメモをとれるように計画的・継続的に指導した。	①体験 学校近隣の防火設備を見学して回る中で、消火栓が一定の距離で配置してあることなどに気付き、地域の取り組みについて考える。 ②人 消防団の方へのインタビューを基に、具体的な活動を知ったり、思いや願いについて考えたりする。	①話す・聞く力 朝の会のスピーチや普段の交流活動で、伝えて終わりのコミュニケーションではなく、伝えられて、相手の意見から話を広げるモデルの活用。 ④調べる力 資料を読み、比較・分類する力。 ⑤考える力 社会の「店で働く人」の学習で知れた情報から、自分の考えを構築する力。

4 指導計画

	つかむ		調べ・考える				まとめる	いかす
時数	1	2	3	4	5	6 本時	7	8
めあて	火事の様子を知り、学習問題をつくろう。	学習問題に対する予想を考え、学習計画を立てよう。	消防署の人たちは、どのような取り組みをし、どのような思いや願いをもっているのだろう。	119番に連絡すると、どこにつながり、どこへ連絡がいくのだろう。	わたしたちの周りにはどのような、消防施設があるのだろうか。	消防団はどのような活動をしていて、どのような思いや願いをもっているのだろう。	学習問題に対する自分の考えを書こう。	火事で全焼するのを防ぐために、自分たちにできることはないだろうか。
主な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> 世田谷区の火災件数と全焼件数を比較する。 10分間で全焼する資料を基に学習問題を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習問題に対する予想する。 予想をもとに学習計画を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料をもとに、すぐに出動するための工夫や設備について調べる。 消防士として仕事をする人たちの思いや願いについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 119番通報した後の、連絡の流れを調べる。 関係機関ごとの役割について調べ、なぜ、これほどの機関が協力して動くのかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内や地域の消防施設について調べる。 地域に多数の消防施設がある理由について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防団の構成や活動について調べる。 消防団員の思いや願いについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を関係図にして整理する。 学習問題に対する自分の考えを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を基に、標語作りを行う。
学習内容(児童のゴールの姿)	学習問題 「なぜ、ほとんどの火事が全焼する前に消し止められているのだろうか」	学習計画 3:消防署の働きについて 4:関係機関の働きについて 5:校内・地域の設備について 6:地域の人の活動について 7:まとめ (8:選択・判断)	〈まとめ〉 消防署の人たちは、いつでもすぐに現場に行けるように、防護服を早く着たり、消火する訓練をしたりして、24時間体制で働いている。また、町の人の命や大切なものを守りたいと思っている。	〈まとめ〉 119番に連絡すると、まず、東京消防庁の災害救急情報センターにつながり、すぐに消防署などのいろいろなところへ連絡がいく。それぞれに役割があり、被害が広がらないようにしている。	〈まとめ〉 学校の中にも、学校の周りにも消火栓が数多く設置してあり、すぐに消火できるようになっている。	〈まとめ〉 消防団の人たちは、ふだんは自分の仕事をしながら、消防署の人たちと協力して仕事をする。地区防災訓練などで、消火器の使い方を教えてくれる。火事から町を守るために、若い人にもっと防災訓練に来てほしいと思っている。	学習問題に対する自分の考え 火事で全焼するのを防ぐために、消防署と色々な人たちが協力してすぐに消火に当たり、地域では消防団が火災を防ぐために訓練をしてくれているが、消火の仕方について、みんながもっと知っておく必要がある。	〈まとめ〉 わたしは、「もしもの時、とっさに動ける人になろう。」という標語を作りました。なぜなら、いろいろと知ることはできたけど、実際に消火器の使い方を知りたいので、防災訓練に行ってみたいと思ったからです。
評価	思・判・表①	態度①	知・技①	知・技①	知・技①	知・技①、思・判・表②	知・技②	思・判・表②、態度②
各教科等・領域			【国語】「仕事のくふう、見つけたよ」 見出しを付けたり、箇条書きにするなどして後で活用しやすいメモの取り方を応用する。			【国語】「もっと知りたい、ともだちの事」 得た情報からもっと知りたい情報を聞き出すために質問をする。		【国語】「しごとのくふう、見つけたよ」 伝えたい情報を整理し、まとめる。
4つの学習内容					【①体験】 校内・地域の消防施設の見学。	【②人】 消防団の人たちから聞いた話をもとに、思いや願いを考える。		
			【③モノ】写真・動画などの資料を活用して調べる。					
								【④楽しさ】、資料を見たり、見学をしたり、ゲストティーチャーに直接聞いたりして調べ学習をできる楽しさ。
7つの学ぶ力	【①話す・聞く力】 朝の会でのスピーチと質問。授業内でのペアでの予想活動、グループでの調べ活動、まとめを書く際の交流から自分の考えを高める活動。							
	【④調べる力】 社会「世田谷区の様子」「店で働く人」		【③予想する力】 社会「店で働く人」 理科「光を調べよう」	【④調べる力】 社会「世田谷区の様子」、「スーパーで働く人」 総合「共に生きる」			【⑤考える力】 社会「店で働く人」 国語「ちいちゃんのかげおくり」	【⑦自分の生活や社会に生かす力】 社会「店で働く人」
						【⑥まとめる力】 社会「店で働く人」 国語「ちいちゃんのかげおくり」		